

水質基準の解説(水質管理目標設定項目)

No.	項目	目標値	区分	説明	主な使われ方
1	アンチモン及びその化合物	0.02mg/L以下	無機物・重金属	鉱山排水や工場排水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。	活字, ベアリング, 電極, 半導体材料
2	ウラン及びその化合物	0.002mg/L以下(暫定)		主に地質に由来して地下水などで検出されることがあります。天然に存在する主要な放射性物質の一つです。	原子力発電用核燃料
3	ニッケル及びその化合物	0.02mg/L以下		鉱山排水, 工場排水などの混入やニッケルメッキからの溶出によって検出されることがあります。	合金, メッキ, バッテリー
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	一般有機物	殺虫剤, 有機溶剤として使用される有機化学物質です。	塩化ビニル原料
8	トルエン	0.4mg/L以下		染料, 有機顔料などの原料です。代表的な有機溶剤で, シンナー, 接着剤などに広く使用されます。	香料, 火薬, ベンゼン原料
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08mg/L以下		プラスチック添加剤(可塑剤)などとして使用される有機化学物質です。	化粧品, 印刷物などの溶剤
10	亜塩素酸	0.6mg/L以下	消毒副生成物	二酸化塩素の原料又は分解生成物です。二酸化塩素の使用に伴って処理水中に残留するおそれがあります。次亜塩素酸ナトリウムの分解生成物です。	漂白剤
12	二酸化塩素	0.6mg/L以下	消毒剤	浄水処理過程において主に酸化剤として使用されます。	セルロース, 紙パルプの漂白剤
13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/L以下(暫定)	消毒副生成物	原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。	
14	抱水クロラール	0.02mg/L以下(暫定)			
15	農薬類	1以下	農薬	114種類の農薬を対象とし, 各農薬ごとの検出値を各目標値で除した値を合計して, その合計値が1以下であることを目標としています。	殺虫剤, 除草剤, 殺菌剤
16	残留塩素	1mg/L以下	臭気	水道法では, 衛生確保のため塩素消毒を行うことが定められています。残留塩素とは, 水道水の中に消毒効果のある状態で残っている塩素のことをいいます。	
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10mg/L以上 100mg/L以下	味	硬度とはカルシウムとマグネシウムの合計量をいい, 主として地質によるものです。硬度が低すぎると淡泊でこくのない味がして, 高すぎるとしつこい味がします。また, 硬度が高いと石鹸の泡立ちが悪くします。	カルシウム: 肥料, さらし粉 マグネシウム: 合金, 電池
18	マンガン及びその化合物	0.01mg/L以下	着色	地質の影響や, 鉱山排水, 工場排水の混入によって検出されることがあり, 消毒用の塩素で酸化されると黒色を呈することがあります。	合金, 乾電池, ガラス
19	遊離炭酸	20mg/L以下	味	水中に溶けている炭酸ガスのことで, 水にさわやかな感じを与えますが, 多いと刺激が強くなります。また, 水道施設に対し腐食などの障害を生じる原因となります。	

20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L以下	臭気	工場排水などの混入によって地下水で検出されることがあり、高濃度に含まれると異臭味の原因となります。	脱脂剤, エアゾール
21	メチルtertブチルエーテル (MTBE)	0.02mg/L以下	一般有機物	オクタン価向上剤やアンチノック剤としてガソリンに添加される有機化学物質です。	オクタン価向上剤, アンチノック剤, 溶剤
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/L以下	味	有機物の指標として基準項目の「有機物」とは別の測定法により求めた量です。水中の有機物などの量を一定の条件下で酸化させるのに必要な過マンガン酸カリウムの量として表したものです。	
23	臭気強度 (TON)	3以下	臭気	臭気の強さを定量的に表す方法で、水の臭気がほとんど感知できなくなるまで無臭味水で希釈し、臭気を感じなくなった時の希釈倍数で臭気の強さを示したものです。	
24	蒸発残留物	30mg/L以上 200mg/L以下	味	水を蒸発させたときに得られる残留物のことで、主な成分はカルシウム、マグネシウム、ケイ酸などの塩類及び有機物です。残留物が多いと苦み、渋みなどを付け、適度に含まれるとまろやかさを出すとされます。	
25	濁度	1度以下	基礎的性状	水の濁りの程度を示すもので、目標値の範囲内であれば濁りのない透明な水といえます。	
26	pH値	7.5程度		0から14の数値で表され、pH7が中性、7から小さくなるほど酸性が強くなり、7より大きくなるほどアルカリ性が強くなります。	
27	腐食性(ランゲリア指数)	-1程度以上とし、極力0に近づける	腐食	水が金属を腐食させる程度を判定する指標で、数値が負の値で絶対値が大きくなるほど水の腐食傾向は強くなります。	
28	従属栄養細菌	2000個/mL以下 (暫定)	微生物	河川や湖水などの水道原水中では、一般細菌よりも従属栄養細菌が多く存在しているため、浄水処理や消毒過程での評価に適しています。また貯水槽や給配水システム内で塩素が消失すると	
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	一般有機物	化学合成原料などに使用され、地下水汚染物質として知られています。	ポリビニリデン原料
30	アルミニウム及びその化合物	0.1mg/L以下	着色	工場排水などの混入や、水処理に用いられるアルミニウム系凝集剤に由来して検出されることがあり、高濃度に含まれると白濁の原因となります。	アルマイト製品, 電線, ダイカスト, 印刷インク
31	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオ	0.00005mg/L以下 (暫定)		難分解性有機フッ素化合物で、撥水剤、表面処理剤、消火剤、コーティング剤等として使われている。環境残留性及び生体蓄積性があり、長期毒性の疑いもあります。	撥水剤, 表面処理剤, 消火剤

※4, 6, 7, 11は欠番です